

道徳だよい

令和7年6月
七塚小学校
校長 奥 健一
5年生担当

今回は、5年生の授業の様子についてお伝えします。

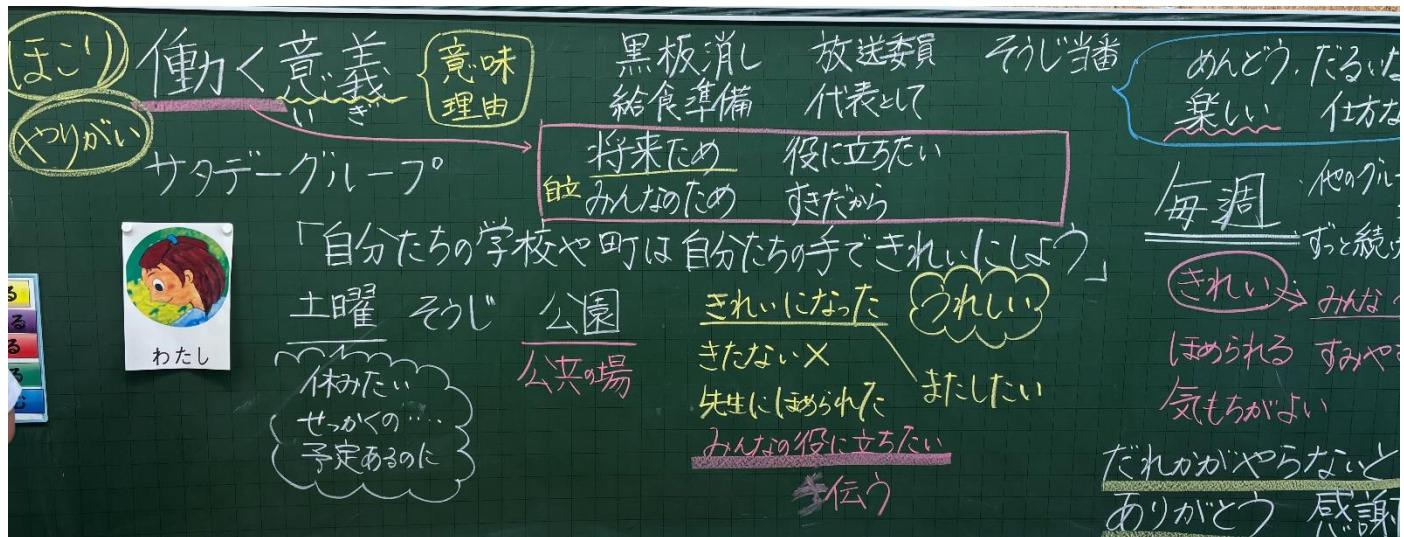
主題名：働く意義について考えよう

教材名：「サタデーグループ」

《ねらい》 働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともにその意義を理解し、公共のために役に立とうとする心情を育てる。

《あらすじ》

「わたし」たちの学校では、地域をきれいにしようと、学期に1回、地域の人と協力して町や公園の掃除をしています。「わたし」は、公園の掃除グループになりました。広い公園の掃除は大変でしたが、みんなで協力してたくさんのごみを拾い、公園をきれいにすることができました。地域の人からも感謝されとても嬉しくなりました。しかし、公園はすぐによごれてしまいます。そこで、6年生の英子さんが「毎週、掃除をしない?」と提案してくれ、毎週土曜日に掃除をすることになりました。掃除グループを「サタデーグループ」と名付け、毎週活動を続けていくうちに、活動に賛成する人たちの輪が地域に広がっていきました。



「働く意義とは?」というテーマで話し合いを行いました。「働く」というと子供たちは、お給料をもらう仕事をすることを想像していましたが、実は身近なところでも「働く」場面はたくさんあります。学校では委員会や係活動、給食当番など、家庭でもお母さんやお父さんが自分たちのために働いてくれている!という気付きもありました。では、なぜ人は働くのか?何のために働くのか?「働く」についてみんなで話し合いました。

《子供たちの振り返り抜粋》

☆帰って家族と話し合いました。お父さんは、働くことは楽しいし、色々な人に会えて成長できると話してくれました。ぼくも将来、やりがいを感じられるような仕事をして、みんなのために働きたいです。

☆自分のことだけではなく、みんなのことを考えることが大切だと思いました。これからはみんなのためになる活動をしたいです。

☆ぼくは「やろう」と言われても続けられる自信がないので、サタデーグループはとてもすごいと思いました。思いやる心が大切だと分かりました。

☆誰かが誰かのために働いているから、みんなが幸せに暮らしているのだと思いました。ぼくも誰かの役に立つことをしたいです。
という振り返りが出ました。